

佐賀女子短期大学 介護福祉士養成科 委託訓練生 Q&A

Q. どんな授業がありますか。

A. 介護福祉士の資格を取得するために専門教科の勉強をします。国家試験合格のための個別指導も充実しています。「障害の理解」の授業では、様々な障がい当事者の方から講義を受けたり、ノンステップバス乗車体験や地域活動を一緒に行っています。障がい当事者の視点に立った支援方法を学べることが佐賀女子短大の魅力です。

Q. 佐賀女子短大の国家試験の合格率を教えてください。

A. 2022 年度の合格率は 100%、2023 年度は 85.7% です（日本人学生のみ）。

Q. どんなところに就職できますか。

A. 高齢者の施設（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・グループホームなど）、障がい者施設（障がい者支援施設・就労支援施設など）、医療機関（リハビリ病院など）、多種多様な現場で活躍しています。県内の多くの介護施設で本学卒業の先輩たちが活躍しているので安心して就職できます。

Q. 介護福祉士のお給料はどのくらいですか。

A. 施設によって異なりますが、介護福祉士の資格を取得すると資格手当が付く施設が多いです。お給料は景気に左右されず安定しています。賞与も施設によって異なりますが、平均すると年間に月給の 3.0~4.0 か月分を支給されています。また、国が「介護処遇改善手当」として介護職員に毎月約 20,000 円前後を支給しています。その他夜勤勤務をする場合は夜勤手当もつきます。金額は介護施設によって異なるため、ハローワークの求人票でご確認ください。

Q. ほかの資格は取得できますか。

A. 「社会福祉主任用資格」が卒業と同時に取得できます。「福祉美容ヘルパー（本学認定）」も取得できます。高齢者や障がい者など福祉を必要とする人々に対して、メイクやネイルなどの美容行為の支援を行うことを目的とした資格です。県内の各種イベントにおいて「ハンドマッサージ」を提供し大変好評を得ています。

Q. 高卒の学生さんと馴染めますか。

A. 福祉とソーシャルケアコースには、高校を卒業して入学した学生のほかに、多数の留学生が在籍しています。留学生は 20 代~30 代と幅広い年齢層がいます。50 代の委託訓練生が在籍していたこともあります。専門科目と一緒に受講するため、同じ時間を一緒に過ごすことで連帯感がうまれ、年齢や国籍は関係なくみんなとても仲が良いです。留学生が自国の

料理を作ってくれることもあります。佐賀にいながら海外旅行気分が味わえます。

Q. 在学生は女子だけですか。

A. 2024年度から男子学生が入学しています。男女仲良く協力し合っていて、クラスのチームワークはとても良いです。

Q. ボランティアには参加できますか。

A. 県市町が開催する地域のイベントや、介護施設のお祭り、当事者団体が主催するイベントなど数多くのボランティア活動に参加することができます。

また近年多発している自然災害のボランティア活動にも多くの学生が参加しています。短大と同じ敷地内に全国規模の市民支援団体 NGO、NPO の拠点施設があるため、その資源を生かして短大を飛び出した現場でのボランティア活動に参加することができます。

Q. 勉強は難しいですか。

A. 介護の専門用語など覚えるのが難しい科目もありますが、経験豊富な先生たちがわかりやすく丁寧に教えてくれます。

Q. 介護実習の期間は何日間ですか。

A. 2年間で3回の実習を行きます。1年生の夏休みにI—①実習（10日間）があります。次に1年生の春休みにI—②実習（22日間）があります。2年生の夏休みに実習II（25日間）があります。学校が実習施設として登録している高齢者・障害者施設の中から自分で選んで決めます。3つの施設で実習を経験できるため、介護現場で多くのことを学ぶことができます。

Q. 学校を見学することはできますか。

A. ぜひ、学校に見学に来られてください。先生や在校生から直接話を聞くことで学生生活のイメージができると思います。お待ちしております。